

## 第2回 魅力あふれる公園づくり推進委員会 議事録

### 1 日 時

令和5年11月2日（木）午前10時00分～午前12時00分

### 2 場 所

刈谷市役所 7階 大会議室

### 3 出席した委員 14名

委員長：瀬口哲夫

委 員：今西良共、杉浦世志朗、加藤彰夫、深谷康生、亀田鹿雄、鈴木三千子、岡田行永、  
高井智幸、北川善己（代理：近藤一也）、石原章、二段日華里、大野裕史、天木敬子

### 4 欠席した委員 5名

委 員：武田正雄、杉本常男、河合敦、山口博子、山田裕子

### 5 事務局

小川課長、小椋課長補佐、堀場専門員、稲岡主任主査  
坂東監、加藤課長補佐、増田業務係長

### 6 傍聴者

7名

### 7 公開・非公開の別

公開

### 8 議題

- (1) 魅力あふれる公園づくり事業化検討業務委託の選定結果について(資料2)
- (2) 各公園の現状把握の状況について(資料3)
- (3) サウンディング調査の概要について(資料4)
- (4) ロードマップのとりまとめ方針について(資料5)
- (5) 来年度の取組について(資料6)
- (6) スケジュールについて(資料7)

## 質疑

### 《議題(1)について》

#### 説明(資料2: 魅力あふれる公園づくり事業化検討業務委託の選定結果について)

##### 【委員長】

サウンディングという言葉が聞き慣れない方もいるかと思いますが、どういう意味になりますでしょうか。

##### 【事務局】

民間事業者に対して、対話で行う意向調査になります。

##### 【委員長】

最初に豊橋に大学ができた際に、やはりサウンディングという言葉を使ったんですね。要は「大学ができましたよ」というのを業界の皆様方にお知らせするというのをやっておりました。サウンディングというのは、今説明にありましたように色々な使い方がありますが、今回この魅力あふれる公園づくり構想では、みなさんにお知らせしながら、事業者の方から意見をいただくということだと思います。今説明いただきましたことにつきまして、ご質問ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

では資料2の業務委託の状況を見ていただきますと、この後現状把握、それから第1回サウンディング調査をして、2回目も行い、それぞれの報告をいただきながら、ロードマップという、進捗表みたいなものを作っていきまして、魅力あふれる公園づくりの事業の中身をどういう形で進めていくかというものの方向性が決まってくるということでございます。よろしいでしょうか。

### 《議題(2)について》

#### 説明(資料3: 各公園の現状把握の状況について)

##### 【委員】

満足度・貢献度分析のところで、貢献度は総合満足度と各項目の満足度の相関係数を用いてとありますが、アンケートをとって、満足度について回答した人の件数だとは思いますが、総合満足度というのはどういう満足度ですか。

##### 【事務局】

総合満足度というのもアンケート調査の中で、1～5段階の評価でどう思いますか、という項目を設けて聞いています。あと、各項目も1～5段階の評価がついていますので、貢献度は、総合満足度に対する各項目の相関・影響を表したものになっています。

##### 【委員】

どうやって計算したのか分からないのですが、グラフの下の数値は各項目の満足度の平均値、駐車場が十分にあるという満足度が3.7くらい。縦の数値にも満足度があると、満足度と満足度を合わせて何が分かるのかが分からないのですが。

**【委員長】**

亀城公園について、全体的に満足していますかという質問と、亀城公園にある駐車場について満足していますかという、それぞれ100人に聞けば100通りの採点ができます。5段階の点数がでます。そのパターンと総合満足度の相関係数、どれだけ似ているかを係数化するんです。それでこういう分類ができますよということです。

**【事務局】**

例えばこの左上の施設が充実しているかっていうアンケートを聞いたときに、3とか2とかそういう人が多くて、今3のあたりにきています。一方で、公園全体に対して、施設がもしあれば貢献するかという聞き方をしたときに、貢献しますと答えた人が多いという結果なんです。施設があればこの亀城公園は魅力が上がっていくと考えている人が多いと捉えていただければいいかなと思います。

**【委員】**

下に書いてある貢献度の説明では、相関係数を用いてと書いてありますが、貢献しますかという質問項目もあったということですね。

**【事務局】**

貢献すると思いますか。という聞き方になります。

**【委員】**

貢献すると思いますかという数値と、各項目の数値の関係を表現したものです。そうすると、貢献度は、総合満足度と各公園の満足度の相関を用いてと書いてあるので、説明が違いますよね。貢献度という言葉はここには出てこない。

**【事務局】**

貢献度というのは造語になります。亀城公園について総合的に満足していますかというのを1～5段階で聞いています。あと各項目、12項目くらいありますが、各項目に対する満足度も聞いています。その総合満足度に対して各項目の数値の影響がどれだけありますか。というのが貢献度になります。例えば、総合満足度を4つけました。各項目は2とか3・4とかそういうのをつけています。そういう数値がどれだけ総合満足度に影響を与えているかというのを貢献度として表しています。

**【委員】**

とりあえず分かりました。それが何を意味するのかが分かりませんが。

**【事務局】**

いわゆるCS分析というものです。

**【委員長】**

分析方法についてはこれくらいにして、結果としてみなさんの感覚と合っていると、採点をしたものに基づいて、だいたいみなさんの感覚と合っていますでしょうか。亀城公園というのは、まだまだ長時間滞在することができない。施設が充実していない。魅力的な施設がない。そういうことを充実すると全体の満足度が上がっていきますということですね。右下の方は、現在満足している。人が多くないので散歩やジョギングができるし、生き物や自然もあるし、子どもが安心して遊べるし、駐車場も十分ありますよ。ということでよろしいでしょうか。

それでは今亀城公園について説明いただきましたが、他の公園についても質問ありますでしょうか。

**【委員】**

現状分析のバックデータのものをどこまで提示するか、というところがあるのですが、いくらでも必要なデータというのはあるのですけれども、少なくとも管理・運営についての現況が全然載っていないので、やっぱり直営なのか指定管理なのかも含めてどういう管理を今やっているのかを本当はできれば提示できれば、収支についてもこの公園はどうなっているのかを提示したほうが、後々に事業者がどこまで入れるのかの参考になると思います。あと、施設についても有料なのか無料なのかというのが、ものすごく収支に関わる、管理に関わることなので、明確にされた方が、サウンディングにいいのではないかと思います。

**【事務局】**

管理・運営に関することや施設の有料・無料については、提示していく方向で考えていますので、また提示方法については、検討していきます。

**【事務局】**

先ほどの貢献度と満足度の分析について、今後民間事業者の方に、対面でいろいろとお伺いしながら調査をするというサウンディング調査なんですけど、その中で公園の現状をお示しするための資料になります。ご質問いただいたように、パッと見てこれが何を意味しているのかというのは、民間事業者の方々にも伝わりにくいのかなと思いましたので、後ほど調査の具体的な方法についてご説明申し上げますが、この表の見方についても事務局から民間事業者に丁寧に説明していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

**【委員】**

この貢献度と満足度について、全体の比較がみたいと思うのですが、5つの公園をひとつのグラフにまとめたら、亀城公園が他の公園と比較してどうかが分かってくる気がするのですが、全体のものをまた教えていただければありがたいです。

**【事務局】**

各公園で、同じアンケートを行っていますが、公園ごとの利用者に聞いていて、同じ人に聞いていないわけではないので、一概には比較できないかもしれませんが、特徴は捉えられるかと思っておりますので、全体で一度見てみたいと思ひます。

**【委員】**

例えば、亀城公園とフローラルガーデンを見させてもらっているが、駐車場が十分にあるという項目は貢献していないんですよね。駐車場なんかいないというように見えてしまう。たまたま2公園とも駐車場の貢献度が非常に低いのですが、全体でみると駐車場ってどれくらいの位置にあるのかというのが見てみたいと思いました。

**【事務局】**

例えば、洲原公園でいいますと、駐車場については満足度も貢献度も高い位置にあるので、今の状態をしっかり維持していければと思っています。亀城公園やフローラルガーデンについては、今の状態を維持しつつ、貢献度が高くなるような施策が必要かなと思っています。

**【委員長】**

全部並べてみると、新しい視点がでてくる可能性があります、そういうのもできれば見たいということでした。他にはどうでしょうか。

**【委員】**

貢献度と満足度について、赤枠で囲っている部分が、利用者があるといいなと重要視していて、それだけまだ満足していないという部分だと理解したのですが、洲原公園の場合、この部分に現状にもないが、そうなるこの公園の改善というのが、どうしても貢献度が低いところを、満足するようあげていく形になるのかなと思ったときに、貢献度が低いままだと、満足したとしても来る人が少ないままなのかと思うのですが、どういう改善をしていくのか教えていただきたいです。

**【事務局】**

このアンケートをとった時点では、やはり緑や花など洲原公園は自然が豊かなので、その自然を求めてくるのかなというのが結果としてみえていると思っています。なので、逆に施設をもともと求めているので、貢献度があがってこない。もし、飲食店などをつくって、改めてアンケートをとると、その結果として貢献度としてはBの方に移ってくる可能性もあるのかなと思っています。それはやはり整備後に追跡調査をしないと分かってこないのかなと思っています。

**【委員長】**

全部並べてみると、どうすれば全体の満足度があがるのか、個別の満足度があがるのかが、もうちょっと明確に説明できるのではないかということだと思いますので、1回並べてみて、有効性、方向性が決まるわけではないと思いますが、一つのデータを基にして、どこまで言えるかというのをもうちょっと調べてほしいということだと思います。

**【委員長】**

通行人口分析というのは、多い・普通・少ないとあるが、絶対数でいうどれくらいのスケールかというのが分からないと、例えば有料店だと、どれくらいの交通量とか人の数とかの絶対数が関係するのではないかと思うのですが、これは5公園について、全部同じ数値なのですか。それとも公園によって違うのですか。

**【事務局】**

あくまで、公園の中での相対的な比較になります。そもそも数がすごい多い公園と少ない公園というのがありますけれども、同じように赤黄緑色での整理になります。

**【委員長】**

分かりました。だから多いとって安心してはいけないということですね。多いといってもそんなに人が歩いているわけではないところもあるということだそうです。

**【委員】**

データは誰を対象にしているのか、例えば主婦の方とか会社に行っている方とかあるいは学校に行っている人とか。

**【事務局】**

アンケート調査は、公園を利用している人にとってるので、老若男女問わず市内市外全ての人を対象としています。

**【委員】**

そうすると、現状把握の次は、それをどう改善するかということで、改善した結果はだいたいどれくらいの目安でアンケートをとりデータ化される予定なのか。市民は結果がみたいと思うので、貢献度にしても満足度にしても改善したことによってどれくらい、何がどのように上がったのかが、目で見て分かるようにしてあげると改善した価値が分かると思いますが、その辺は次のステップでまたお示しいただけるのでしょうか。

**【事務局】**

ご質問ありがとうございます。例えば亀城公園ですと、Aに入っているところが、施設が充実しているところが改善項目でありますので、こういったところを民間事業者に提案して、それに対して施設整備が進んでいくと思いますので、ある一定の施設整備や管理運営の中で、またこういったアンケート調査をすれば、前回と比較してどれがどう改善したかが分かるかなと思います。

**【委員】**

今回の公園だけではなく、規模が小さい公園のレベルが低いままではなく、改善することによって他の小さい公園もレベルアップするといったところにつながると思いますので、そういうのをデータで見える化すると、地域にも示せるかなと思いますので、よろしくお願いします。

**【委員長】**

5公園だけではなく、その結果を街区公園などの身近な公園にも活用できればいいのではないかという意見でした。

他にありますか。よろしいでしょうか。

### 《議題（3）について》

#### 説明(資料4: サウンディング調査の概要について)

##### 【委員長】

それではいま説明をいただきましたサウンディング調査の概要について、ご質問・ご意見のほどお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

##### 【委員】

そもそもよくわからないのですが、いわゆる公園の整備を市がやっていくのか、民間に委託する Park-PFI 的なものでやっていこうという目的の中でサウンディングをやるのか、市が施工主としてやるんだけどそれでサウンディングをやるのかっていうのが、よくわからないんですけども、最近はどちらかというと民間活力でやっていこうというものが多いですよ。そもそもそれを目指しているのでしょうか。

##### 【事務局】

ご質問ありがとうございます。今回は5公園すべて、場所を区切らずに民間事業者の方に聞いた中で、例えば Park-PFI だったり、その他の事業手法だったり、まずはやれる場所を確認するところがあります。それで例えばやれるっていう話であれば、民間事業者の方をお願いする、もし、やれないのであれば、じゃあ例えばここまでは行政がやって、ここからは民間事業者の方をお願いするとか、行政側と民間側でそれぞれやるべきところ、まずそういったところをサウンディング調査の中ではっきりさせていきたいと考えております。

##### 【委員】

結局、民間でやっていきたいけれども、こういういろんな項目の中で、やれるところありませんかと聞くわけなんです。市がこういうことをやっていきたいから、とってそういう業者を訪ねるんじゃなくてね。民活でやってもらいたいということですね。

##### 【事務局】

そうなります。

##### 【委員長】

P25の第一回サウンディング調査のところに「希望する事業手法」というのが書いてあって、これも分かりづらい方がいるかもしれませんが、Park-PFI、設置管理許可、指定管理者制度、PFI、DB、DBOなどと6つ書いてあって、行政の関わり方とか、民間がどれくらいやるのかが事業手法によって少しずつ違うんですね。だから、その今おっしゃっていただいたように市民の皆さんの希望している都市施設や公園のあり方について、民間が参加できる場所がありますか、その場合に事業手法のこれだったら参加できる、そういうことを聞くのをサウンディングと称している、こういうことになります。

他にご質問・ご意見あればお願いしたいと思います。分かりにくかったら何が分かりにくいをおっしゃっていただくと理解が進みますので、よろしくお願いしたいと思います。

### 【委員】

いまの質疑で、なにをやろうとしているかというのはだいたい理解できたのですが、例えば民間事業者が参入するということになる、そこで収益を挙げなければいけなくなってくるわけですが、そうなった場合は、公園自体が有料化されてしまうとか、そういった方向へ進んでいくのか、そういうのも含めて今回サウンディングという形で調査をされるということなんでしょうか。

### 【事務局】

ご質問ありがとうございます。もし仮に有料施設として、こういったものを民間事業者の方が設置したいよ、という話の中で我々もそういう施設があったほうが、公園の魅力向上につながるということになれば、一部は有料化というような形のご提案も受けるようになるのではないかと考えております。

### 【事務局】

公園そのものに対して例えば入園料をとるとか、そういったお話ではなくて、例えば岩ヶ池公園であれば、魅力あふれる公園づくり構想の中にグランピング施設を将来つくったらどうかというのがあるのですが、そうした場合には、宿泊をしていただいたらその宿泊料を頂くという認識でおります。民間事業者の方には、こういった施設をつくっていただいて、そこに対して利益を受けられる方からの対価を頂く、そういったお考えをしていただくと助かります。

### 【委員長】

公園というのは公共施設だから基本的に公園に入りたいという人を区別するというか、そういうことはできないんですよね。でも公園の中にそういった特別な施設をつくるというのは、そこが有料化することはありえるのかというと、既に Park-PFI で鶴舞公園とか赤塚山公園、鞍ヶ池公園、天王川公園というのにカフェとかレストランなどができており、そういう部分は有料化され、その収益は一部公園の整備にまわされる。民間だけが全部持っていくというシステムではないというのが Park-PFI です。ですから市民にとっては基本的には自由に公園を使えて、公園の魅力度があがると、それに対して、場合によっては中でコーヒーを飲めば、コーヒー代はいただきますよ、ということになる。そういうわけですね。

### 【委員】

そもそもの改善の目的は事業者のためにあるのか、それとも使う人のためにあるのか、というところを思うと、誰を対象に現状把握をしたかと聞いたときにそこを使っている人たちを対象に現状を把握しましたと、いうことですね。その結果、データ化されているわけです。その結果を今度は事業者を対象にして調査するとなるとちょっと次元が変わらないですか。本来の公園の利便的なものを考えた時にこういう風にしてほしいと思うのは使う人が考えることであって、そこに近づけることが本来の目的じゃないかと思うわけです。事業者は事業者で先ほど話があったように、やっぱり収益のことを考えて、提案されるんじゃないかと思うんですね。だから事業者と使う人とのギャップが出たら改善しても、結果的には喜ばれない公園になってしまうのではないかという心配があります。ですから調査するのであれば、事業者だけでなく利用者からの意見も集めてどういう方向にもっていくのか、考えていくのがよろしいのではないかと思います。



### 【事務局】

ご質問ありがとうございます。先ほどもありましたアンケート調査は、魅力あふれる公園づくり構想をつくる時に実施したものになります。そのアンケート調査を踏まえた上で、当時、市民公園づくり会議という、多くの市民の方にご参加いただいて、ご議論いただいて、この構想の素案を策定した上で、最終的に、当時構想策定委員会という委員会において、構想を策定してきたという経緯があります。その構想において、市民のみなさんがこの公園の魅力を向上させるために必要な将来の利活用イメージが既にできているものですから、今度は、それに向けてどうやったら実現できるかということは今考えています。そして、その手法として、公共でやるのか、民間でやるのか、選択肢があるのですけれども、やはり効率的かつ効果的に、なるべくスピーディーに整備していくという中では、民間活力の推進というものを図っていきたいということで、そのような方針で整備していきたいと考えます。そして、その民間活力を導入していくために市の思いだけでやはり民間事業者には参加してもらえないので、市と民間事業者が win-win の関係になっていかないと当然参加していただけないと思っています。それをある意味、面と向かって対話でお伺いするという調査がサウンディング調査ですので、決して市民のご意見をないがしろにすることはありません。構想の中で市民の皆さんは、こういう公園を将来望んでいるという結果がひとつあるので、まずはそれに向かって民間事業者の方が協力していただけるかどうか、というのを調査の中でやっていきたいと思っております。

### 【委員】

最終的に業者を選定するときに、例えば行政の中だけでみるとかじゃなくて、もっと市民を含めて決めないといけないよ、という言い方をされたのかと思いました。例えば今までは指定管理とか Park-PFI を決めるときに必ず専門的な先生方と女性の会の会長さんとか、地区の会長さんとかが委員の中に入っているのです、それはそれでいいのかなと思います、一部の間人だけ、行政だけとかで業者を選定しちゃいけないと、そういう意味だったかと思います。

### 【委員長】

それからもう一つ重要なことを言われましたが、実際に民間が参加した時はもちろん市民の希望する構想から外れたものにはならないようにするわけですが、それでも市民の希望したものとギャップが出た場合にするか、ということだと思います。基本的に期間が決まっている制度があり、それらは更新されていく。基本的には期間が決められているものなので、著しく公園を私物化する、なんていう場合には、当然次の機会には更新できない、というようにブレーキがかかるものだと私は思っています。

### 【委員】

説明の中で市と事業者の win-win の関係というのがあったのですが、そこで地域を入れて三者で win-win にしていただけないか。地域の要望がどれだけ組み入れられるのかな、というのがすごく心配なんですけども PFI とか指定管理とかやる際に、PFI で僕が知っている範囲で 30 年くらい、運営に関する指定管理も入ってますよね。最初にそれが決まってしまうと、その時に多分地域の人たちが PFI に入り込めれば、30 年間ずっと一緒にやっていけるという気がするんですけど、途中からはなかなか入りにくくなるので、地域の人と一緒に公園を運営していけるように考慮してい

ただいて、PFI あるいは指定管理をしていただけるとありがたいと思います。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。もちろん我々も地域の方と一緒に公園を管理運営していきたいなと考えておりますので、今後、検討する際には、地域というのもしっかり考慮してやっていきたいと思ひます。

**【委員長】**

ありがとうございます。指定管理なんかは、期間が短いものによっては3年とか5年で変わられてしまうので、なかなか難しい問題も生じます。でも30年とかあまり長すぎると、また問題になる、という施設もあるんですね。だからその期間についても聞いていくにあたって勉強していただければと思ひます。

**【委員】**

サウンディングの公募を出すときに、市からお願いしますとかはないのでしょうか。例えば気になっているのが、すでに公園自体こういう施設を入れたいと構想が出ていて、これらを出すときには受け身なのかなというのを少し感じていて、来るものに対して見せているのかな、という風に感じます。みなさんいわれているように市民の意見を聞いてまとめてきたものがこれから生かされていくのかなと思ひますね。実際、刈谷市総合運動公園なんて駐車場が足りない状態で、もうロードマップを作っているよりも先につくってほしいというような意見だと思ひますよ。私は今回委員会では各公園の代表が来ているので、この委員会でロードマップを作ると思ひていました。各分野の方もみえているので、それでロードマップを作っていくのかなと思ひていたら、プロポーザルで決めたというので、大きいものだからというのもあると思ひますが、部分的にといいますか、ここは市の方で進めてしまって、この部分は大きいので民間の手を借りたいなというところは民間の手を借りるといふことであつたほうが、私たち市民が集まって意見を言ったものが生かされているなと感じます。今この進め方だとコンサルさんにお任せして、サウンディングして、来た民間に対してやっている、利益がないと企業って入らないと思ひるので、例えば企業が入ってしまうと、人が来て、また駐車場が足りなくなるなど、最初に話が戻ってしまうといったように、またもとに戻ってしまうのかなという心配があるので、こちらを考慮していただきたいなと思ひます。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。市民のみなさんの意見として、業者の方にこちらから話をさせていただくつもりではあるのですが、サウンディング調査をして、例えば民間事業者の方が出資をしますよ、施設をつくれますよというところだけを整理すると捉えられているのかなと感じています。その点につきましては、この次の資料5で説明させていただきたいなと思ひているのですが、今回このサウンディング調査では公共で整備する部分、民間で整備する部分を絶対ではないですが、仕分けするような作業になっております。それをロードマップと呼んでいますが、今後整備をしていく上での優先度の評価につながるものと考えています。それ以外に今おっしゃられた各公園の喫緊の課題みたいなものとかがあるのですが、そういったものを一緒に並べて評価をした上でどこから整備をしていこうかということ委員会の中で議論をさせていただいて、最終的に整備の着

手時期を設定していきたいと考えておりますので、次の資料5で説明させていただきます。よろしくお願いたします。

**【委員長】**

ほかにはありますでしょうか。

**【委員】**

少し視点は変わるのですけれども、P27のサウンディング実施結果概要の公表について各事業者さんにとってはサウンディングで出した内容が、ある意味企業秘密なところもあつたり、非常に難しい部分だと思います。P27に記載されている内容は、実際何が公表されるのか全然わからないというところがあつて、できればイメージだとか事例もいっぱいあるはずなので、どこまでは必ず公表しますよ、というのを明確にされた方がよろしいと思います。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。資料の方を少し検討させていただきたいと思います。

《議題(4)について》

説明(資料5:ロードマップのとりまとめ方針について)

**【委員】**

助言をさせていただきたいのですが、将来像はどのようなものを将来像にしているか、というところがものすごく疑問なところがあります。公園というのは非常にスペースがあるということで、ただ単に運動をする場所ではなく、私がお願いしたいのは、防災についてのお願いなんですけれども、有事の際にどうしても安否確認というのが必要になります。場所にもよるのですが、そういった安否確認をしようとした際に、結構広いスペースが必要になります。ですから、ここの二番目に書いてある整備優先度の評価、評価される時の項目として、そういった有事の際のスペース確保のことについても念頭に置いて考えていただきたい。先ほど駐車場の話もでてましたが、やはりそういったところに集まるためには歩いてくるのか、車で来るのか、という話も出てくるわけですね。できればそういったことも項目の一つに入れていただきたい。メニューも行政、市民、業者、社会、の4つの視点で定性的な評価を行い、とありますけれども、用途に合わせた評価というものも考慮していただきたいというのをお願いします。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。整備優先度の評価について防災ということについても入れていただきたいということでしたので、こちらについて検討してまいります。

《議題(5)について》

説明(資料6:来年度の取組について)

**【委員】**

P34 の調査項目、この中で樹種などが挙げられているが、項目がこれだけなのかわからないが、たぶん樹木の形状寸法だとか、樹木の健全度調査というような、そういう表現をして、少し細かく、項目にどのようなものがあるか明確にされた方が良いかなと思いますので、ご検討いただければと思います。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

**【委員】**

調査項目の中で公園のトイレの数も調査対象にしてほしいんですね。防災に関係した話なんですけど、安否確認のためにそこに集合するとどうしてもトイレの問題が非常に多いと聞いています。ですから現地のトイレの数が足りているのかということを検証していただいて、例えば簡易トイレを設置できるような構造になっているのか、あるいは場所があるのか、そういったところも対象にしていただければありがたいです。

**【事務局】**

ありがとうございます。公園のトイレの数につきましては、すでに保有しております公園台帳がありますので、こちらから把握してお答えすることができます。必要でありましたら、また説明させていただければと思います。そのうえで、今回の調査というのがあくまで構想の中にある利活用イメージを実現するためにつながるような取り組みとさせていただいているので、そのあたりご理解いただければと思います。

**【委員長】**

防災上の計画は別途刈谷市も持っているわけですね。その場合に、避難場所としての空間の大きさとか、災害時のトイレの仮設、阪神大震災後に出てきた下水を活用したトイレなど、そういったものが十分整っている前提として話が進んでいるように思うのですが、その辺も十分注視しながら進めてほしいということですね。

**【事務局】**

亀城公園のイベントボックスの実施についての補足ですが、魅力あふれる公園づくり構想の中でにぎわい創出ということで店舗の設置といった利活用イメージがありましたのでこういう表現をしています。我々としては、亀城公園をもっと皆さんに使っていただきたい、活用していただきたい、ということを思っています。こういったイベントボックスの活用というのは、店舗に限らず例えば、地域のイベントで使いたいとか、公園の利活用を促すような店舗は、利用者の思いを満たすというか、ニーズを満たすというような項目として載せているといったようなご理解をお願いいたします。

**【委員長】**

仮設コンテナは刈谷城にふさわしいデザインにしてほしいなと思います。あまり景観を台無しに

することはないようにしていただきたいと思います。その上で活用を図っていただくというような、桜まつりの時は当然準備をして、イベントのないようなときもどういう仕組みで使っていただくかというのを検討していただき、にぎわいが生まれればと思います。

**【委員】**

資料をみると出店できるのが冬場だけなんですよね。5 か月間で、桜の時期というのが入ってない。もう少し伸ばせないでしょうか。テントの仮設準備が3か月ほどあるので、これをもう少し短くできないかとか、もうちょっと長いこと使えるようにしてほしいなと思います。

**【事務局】**

前向きに検討させていただきます。

**【委員】**

この間亀城公園でマルシェがあったんですよね。すごく行きたかったのですが、亀城小学校の運動会と被ってしまっていけなかったんですが、ああいうことも今後可能になってくるんですよね。

**【事務局】**

あいにくの天候だったのですが、現場の方を見させていただいたんですけれども、やはり雨の日でも使えるような利用としたいと考えております。

**【委員】**

これがなくても、あそこはそういう使い方ができるようになっていくのでしょうか。

**【事務局】**

現在、公園の使い方マニュアルを整理しており、その中でマルシェみたいな使い方は可能となつていきますし、マルシェをしながらボックスを使っていただくなどそういうこともできるようになっております。

**【委員長】**

こういう形で来年度の予算がつき、少しでも5公園の整備が皆さんの思いを踏まえて進んでいくということになれば、事業者が参加する部分は時間がかかるかもしれませんが、まずはこうした目に見える取組を行うということは非常に重要なことだと思います。

《議題(6)について》

説明(資料7:スケジュールについて)

**【委員】**

同じ公園事業者という行政の立場から少しコメントをさせていただきます。愛知県でも2021年度に大高緑地のプール跡地、その他にも都市公園でサウンディングをさせていただきました。マーケットサウンディングをやるのが基本的にはゴールではないと思っていますので、今後いろんな

手法で公園の将来構想に向かって整備を進めていくと思うのですけれども、例えば Park-PFI の手法をとられるのであれば、民間事業者さんがしっかり収支を確認できる時間がとれるように少し長めにサウンディング調査の期間をとられる方が良いかと思っておりますので、変更後のように少し長めにとるのは良いかなと思っております。あとサウンディングの結果なんですけども、愛知県もHPの方で結果を公開しておりますので、それを見ていただくと参考になるのではないかと思います。愛知県のマーケットサウンディングをやりまして、その後、民間事業者の公募をかけたのですが、少し時間が空いてしまったということもあって、社会のニーズだとか社会の経済状況が変わってしまったということもありますので、もし公募をかけるまでに少し時間が空くようでしたら、例えばその公園に限ってもう一度サウンディングをかけるというのもひとつではないかと思います。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。愛知県さんの事業も参考に今後進めていきたいと考えております。

**【委員長】**

色々と状況の変化もありますので、そういったものも参考にしてほしいとのことでした。他にはスケジュールについてないでしょうか。なければスケジュール以外、全体を通して何かご意見、ご質問がある方がいらっしゃいましたらお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、これで議事を終了いたします。